



2024年10月発行

大阪市立大学全学同窓会静岡支部 News Letter

第13号

発行:大阪市立大学全学同窓会静岡支部

2024年春の交流会 「駿府城 気ままに散策花見の会」



写真1

4月13日(土)、桜吹雪を求めて山本支部長をはじめとする総勢5人で、駿府城公園とその周辺を足の向くまま気の向くまま歩き回ってきました。

集合は静岡駅在来線改札口前で4人が集合し、とりあえず浮月楼に向かい庭を観ようとしたのですが、残念ながら中に入ることができなかったので、静岡市庁舎本館に寄り90年の歴史の香りを楽しむなどしながら、駿府城公園に向かいました。

公園内の桜は桜吹雪には少し早く、満開の桜が私達一行を迎えてくれました。(写真1)桜の花の下を散策しながら天守台発掘現場に向かい、昔の石垣跡や出土した瓦などを見学。その後、途中参加の一人と合流し、今回の散策の



写真2

メインイベントである葵船乗り場に向かいました。今回の参加者5人は全員葵船初体験であり、ワクワクドキドキしながら船に乗り込みました。(写真2)堀の水面から石垣を見上げる風情は

普段の上から堀を見下ろした時とは全く違ったものでした。そして終点直前、船は堀に低くかけられた橋の下をくぐらなければならないのですが、どう見ても橋の高さは船の屋根の高さより低く、どうするのか!?!と置いていたら、突然屋根がたたまれ、乗員全員這いつくばったような状況で橋の下を通過、大いに興奮したものでした。

下船後には公園に戻り、売店で待望の昼食と昼飲み、おでんとビールに舌鼓を打ち、お腹と心が満たされた後は、静岡市歴史博物館に向かい、膨大な展示物を楽しみました。(写真3)最後に、富士山の勇姿を観に最上階に昇ったのですが、残念ながら、春霞の向こうに隠れてしまっており、普段からこの場所で富士山を見ている支部長の解説だけで終わってしまったのは残念でした。



写真3

少人数の、手軽な催しでしたが、日ごろの雑事から解放された楽しい時間を過ごすことができました。また、何かやりましょう。

<大場正春(理院51)>

支部のメールアドレスが変更になりました!

新しいアドレスは shizuoka@omu-alumni.net です。こちら宛にメールをいただければ、今後、上記のようなイベントを開催する際にメールでご案内をいたします。ぜひご登録ください。



商学部 昭 58 年卒 / 経営学研究科博士課程 平 2 年単位取得

川瀬 慶子氏 (静岡市)

学部から大学院に進学し、博士課程を経て静岡大学に赴任してから 34 年目になります。定年まであと 2 年を切りました。学部・大学院では日本証券奨学財団の奨学金やトヨタ財団の研究助成を受け、日本育英会(当時)の奨学金も借りながら、環境経済学・財政学の第一人者である宮本憲一先生に師事してきました。1984 年に結婚し、2 人の息子を育てながら、教育と研究に関わってきましたが、息子たちはそれぞれ独立。孫がいます。

専門は財政学・地方財政学です。1999 年に子連れでニューヨーク大学に在外研究に行く機会にも恵まれました。その後、アメリカ州・地方財政に関する著書をまとめ、ようやく経済学博士の学位を取得。私にとって子育てと学問は両輪のようなもので、二重の喜びを味わわせていただいたことに感謝しています。

私の研究テーマは、国と地方の財政関係です。国と大学の関係に置き換えてみると、実に多くの点で共通の課題が見えてきます。大学では「学問の自由」と「大学の自治」が重要なのですが、自治の形骸化がすすんでいます。大阪市立大学が府立大学と統合再編され、大学名が変わってしまったのは残念でなりません。大阪市立大学同窓会の名前を後世まで残していただきたいと思っております。



工学部機械工学科 昭 62 年卒

玉置 勝敏氏 (湖西市)



北海道ツーリングにて

昔からの機械いじり好きが高じ、昭和 58 年に機械工学科に入学。直後に友人の影響でバイクに目覚め、学生ながら初めてローンでバイクを購入、ローン返済とツーリング費用を稼ぐため学業の傍らバイトに日々明け暮れていました。

2 年生になる頃、学部の先輩の手伝いに駆り出されたのがきっかけで工学部自治会活動に携わることに。新入生歓迎会や银杏祭、イベントの開催、学部チラシの発行などで忙しい日々でしたが充実していました。学科や学部を越えて多くの学生と顔見知りとなり、一緒に何かを成し遂げることに楽しさとやりがいを感じました。よく打ち合わせと称しては、杉本町駅前のカフェ「ABC」や理学部近くの「Satin Doll」「ART」「夏爐」に集まり、ワイワイと議論を交わしたことを懐かしく思います。

忙しくなるにつれ地元(和歌山)からの通学が難しくなり、3 年生からは学生寮(杉本寮)に入ることに。戦後に米軍兵舎として接收されていた寮はすきま風が吹くようなボロい建屋でしたが、その分先輩後輩とも風通しがよくて快適でした。この時先輩から教わった「おいしいコーヒーの淹れ方」は今も役に立っています。ただ時折徹夜で開催されるマージャンと吉野家牛丼のヘビーローテーションは少し辛かったです(笑)。



大学卒業後は二輪車の開発を志して静岡県のスズキ(株)に就職。当初 20 年間 工学部自治会メンバー達 (ピースサインが私) は四輪部門、その後は二輪部門に異動、一貫してものづくりに関われたことは本当に幸運でした。

昨年、60 歳定年を機に退職しました。同期の殆どが延長雇用を選択する中、新しい仕事に挑戦したくなり、現在は妻の実家が営む自転車・二輪・四輪の販売店を手伝いながら、新たな分野の資格取得に取り組んでいます。